

イスラエル、病院攻撃拡大

ガザ人口密集地も標的

死者1万3000人に

パレスチナ自治区ガザへによる手術室が爆撃される際の攻撃を続けるイスラエル軍は19日、北部のインドネシア病院を直撃攻撃し、少なくとも12人が死亡しました。カタールのテレビ局アルジャシーラ

ガザ北部のシフア病院から南部ガザの病院に移設され保護部隊や治療を行つたる事
間隔19日、ガザ地区ガザ(ロイター)

れ、手術が不可能になりました。
→関連5面
また「国境な医師団」によると、ハマスはイスラエルの主張を「自らの軍事的によるべ」南部ヘブンゴニアのナセル病院には、18日の爆撃で負傷した少ないもの12人が運ばれ、うち70人はすでに死んでいたとあります。

イスラエルは、シファ病院に入りした15日以来、攻撃の理由としていたイスラム組織ハマスの「指令センター」の証拠を提示できていません。他の病院への攻撃を拡大。さらに住宅や民間施設の地下にハマスの拠点があるなどとして、人口密集地の攻撃を続けています。

イスラエル軍は19日、シファ病院の地下で発見したとするトンネル内部の動画を公開。アルジャジーラによると、ハマスはイスラエルの主張を「自らの軍事的失敗を隠すためのうそだ」と否定しました。

イスラエルは、シファ病院に移送しました。国連の発表によると、18～19日未明にかけて2人の早産児が死亡。移送された早産児は、全員が深刻な感染症にかかっており、11人は危篤状態です。

ガザの保健当局は同日、10月7日の戦闘開始以来、パレスチナ人の死者が1万3000人、負傷者が3万人を超えたと発表しました。うち少なくとも3500人を女性です。

イスラエル軍は19日、シファ病院の地下で発見したとするトンネル内部の動画